

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	観光施設管理事業	会計	一般会計	事業No.	472	施策順No.	11-045
		事業種別	政策・その他	予算科目	7-1-4-10-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	16	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯田市が所有する観光地、観光施設						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		維持補修・管理する観光施設数:カ所	15	15	16	19	19	
	意図	良好に維持管理することで観光地域が活性化するようにする						
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	効果的に管理された施設:数	15	15	18	19	19	19	B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	観光施設の利便性、快適性の向上を図るうえで重要なものは観光地トイレである。観光課管理のトイレは19施設あり、観光客に不便をかけることのないよう管理の徹底が図られた。また、同様に観光施設についても現地確認をし、観光客が安心安全に利用いただけるよう施設管理に努めた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	観光地の遊歩道等の維持管理に加えトイレなどの適切な清掃業務を行う。その他観光施設の維持を通じて地域団体の保護育成を図る。団塊の世代の山岳観光指向に対応するために登山道や遊歩道などを整備し維持する。都市農村の交流促進施設を効率的に活用し、体験旅行などで有効活用できるよう維持管理を行う。観光案内所を維持・発展する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 観光施設の管理 (1)観光施設、トイレ、浄化槽等点検委託 18施設 新規:飯田駅観光案内所 (2)光熱水費、修繕、案内所電話料ほか (3)土地等賃借料 (4)トイレ汲取り手数料、消耗品ほか (5)保険料事務的経費 2 遊歩道等の整備	1 管理している施設数 2 整備か所数	1 19カ所 2 5カ所
23年度実施計画	1 観光施設の管理 (1)観光施設、トイレ、浄化槽等点検委託 (2)光熱水費、修繕、案内所電話料ほか (3)土地等賃借料 (4)トイレ汲取り手数料、消耗品ほか (5)保険料事務的経費 2 遊歩道等の整備	1 管理している施設数 2 整備か所数	1 19カ所 2 5カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他					
一般財源		15,236	14,464	15,949		
計(A)		15,236	14,464	15,949		
正規職員所要時間						
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			0			
トータルコスト A+B			14,464			

4 事業に対する市民や議会の意見

施設の管理については、市民の見方も非常に厳しくなっている。地域に密着しながら、少ない費用で質の高い管理などが求められている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が観光消費額を高める活動をする	施策の成果指標又はムツ指標	観光消費額(億円)
				経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	観光地や観光施設を良好に維持管理することで観光地が活性化し、そのことにより観光地としての魅力を高めリピーターの確保につながっている。		
	後期に向けた課題	継続したリピーターの確保と点である観光施設をいかに面的整備できるかが課題である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	観光施設のある地域の団体等と連携した維持管理を行うことで、観光施設はもちろんのことその地域や団体が活性化するように努めてきた。		
	後期に向けた課題	市内観光施設は数多くあり、優先順位付けを行い年次計画による維持管理が必要である。また、その観光施設が活発化するよう地域や団体との更なる連携が求められる。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	軽微な周辺整備等は、業者発注することなく地域の団体等への賃金による作業とした。		
	後期に向けた課題	限られた予算の中で有効な施設管理をするためには優先順位付けが重要である。しかし、観光客の安全安心の確保を考えた場合、コスト削減には限界もあり、そのための予算確保が課題である。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	適切であった。		
	後期に向けた課題	特になし		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①地域の資源として、地域内に保存会等が存在するところでは施設の維持管理に限らず資源の有効活用、さらに誘客数増に向けた取り組みを行っていただくことができた。 ②市が所有する施設を良好に維持管理することは市の責務であるが、地域の団体等に任すべきところは任せるなど役割分担と支援体制を整えた。		
	後期に向けた課題	指定管理者制度を導入している施設にあっては、市と指定管理者との役割分担を明確にする必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	市内には数多くの観光施設を有しているが、限られた予算の中で優先順位付けを行いながら良好な維持管理に努めてきた。しかしながら、すべての施設に対し満足のいく維持管理とまでは至っていない。 維持管理にあたっては地域の団体や指定管理者等と連携を図りながら実施することができた。		
	後期に向けた課題	観光施設としての安全安心が求められているが、施設の老朽化も進みそれとともに修繕が所も増加傾向にある。観光施設へのリピーター確保のためにも管理費の削減は不可能である。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--